

# 一般質問

12月8日、9日、10日の本会議では、延べ23人の議員が質疑・一般質問を行い、議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。(発言順に掲載)

## 市広報紙について



高橋佐代子 議員  
(21 政会)

### 問

広報は市民に適切な市政情報を提供し、生活の利便のため、コミュニケーションとコミュニケーションを深めるための手段として、発行しているものだが、最近の広報紙は私物化が目にする。第三者による公正

公平な偏りのない記事ではなく、市長がみずからの一方的な考えを市民に押しつけ、みずからの失敗や過ちを正当化しようとしていることは許されることではない。市民参加による広報の第三者委員会の設置等、公平・公正に市民のための正常な広報紙づくりに取り組み、愛され親しまれる信頼性の高い広報紙にしたい。

### 答

広報の編集発行については、市の現況や課題に対する市長の考え方や取り組み状況、市の将来ビジョンなどを掲載していますが、あくまで情報の一環として行っているもので、

公平・公正性を欠いているとは考えていません。第三者委員会の設置については、現在は考えていませんが、市民の声を聞く方法として、市政ウォッチャー制度の提案を受けており、今後広報紙においてもインターネットや携帯電話等により、アンケート調査が実施できないか、検討・研究をしたいと考えています。

## 福祉について



小谷安富 議員  
(太陽の会)

### 問

いまの加西市の介護施策は、市民の期待にこたえていると言えるのか。特別養護老人ホームのベッドに空きがないため、他市の特養ホーム、老健施設、グループホーム、またはショートステイを長期で利用

することで対応しながら入所を待っている人が加西市では多い国や県の方針にとらわれず加西市の現状を見て対応していくべきである。今後総合的に介護施設として特別養護老人ホームが

必要と思うが、どのように思われるか。

### 答

特養施設についてはあくまで利用者本位、市民本位で考えるべきだと思っています。財政が厳しいから認められないということではなく、そういうサービスを提供できる環境を提供しようとしたら、これだけの財政負担が生じますが、それでもやりますかという問いかけを市民にすべきだと思っています。

いままでは、国がこう言っている、県がこう考えているから、加西市としてもそれを踏襲するという福祉施策でしたが、これからはそのあたりを見直す必要があるかと思っています。



## 3党派合同の政策提案と予算要望について



山下光昭 議員  
(無所属クラブ)

### 問

私は、議員の役割は議会が決定した予算が目的に沿って適正に執行されているかどうかをチェックするとともに、自ら市政に対して、こうあるべきだとの政策提言をするのも大切な役目だと考える。3党派(新政会・東風会・無所属クラブ)合同による49項目の政策提案について、市長としてどう受け止められているか。また、『減CO2プロジェクトシンポジウム』の講演で、三洋電機が持つ先端技術の粋をすべて加西に投入するという、三洋電機の部長の力強い宣言に感銘するものがあつた。この明かりを加西市の人口増等、希望の明かりとなるように、行政として市民の為となる支援を求めるものである。市長の所見をお尋ねする。

### 答

3党派の政策提案について、有り難く拝見をしま